

LDK

X

7枚板で作る部屋

Concept 7枚の可動間仕切りで部屋を作る

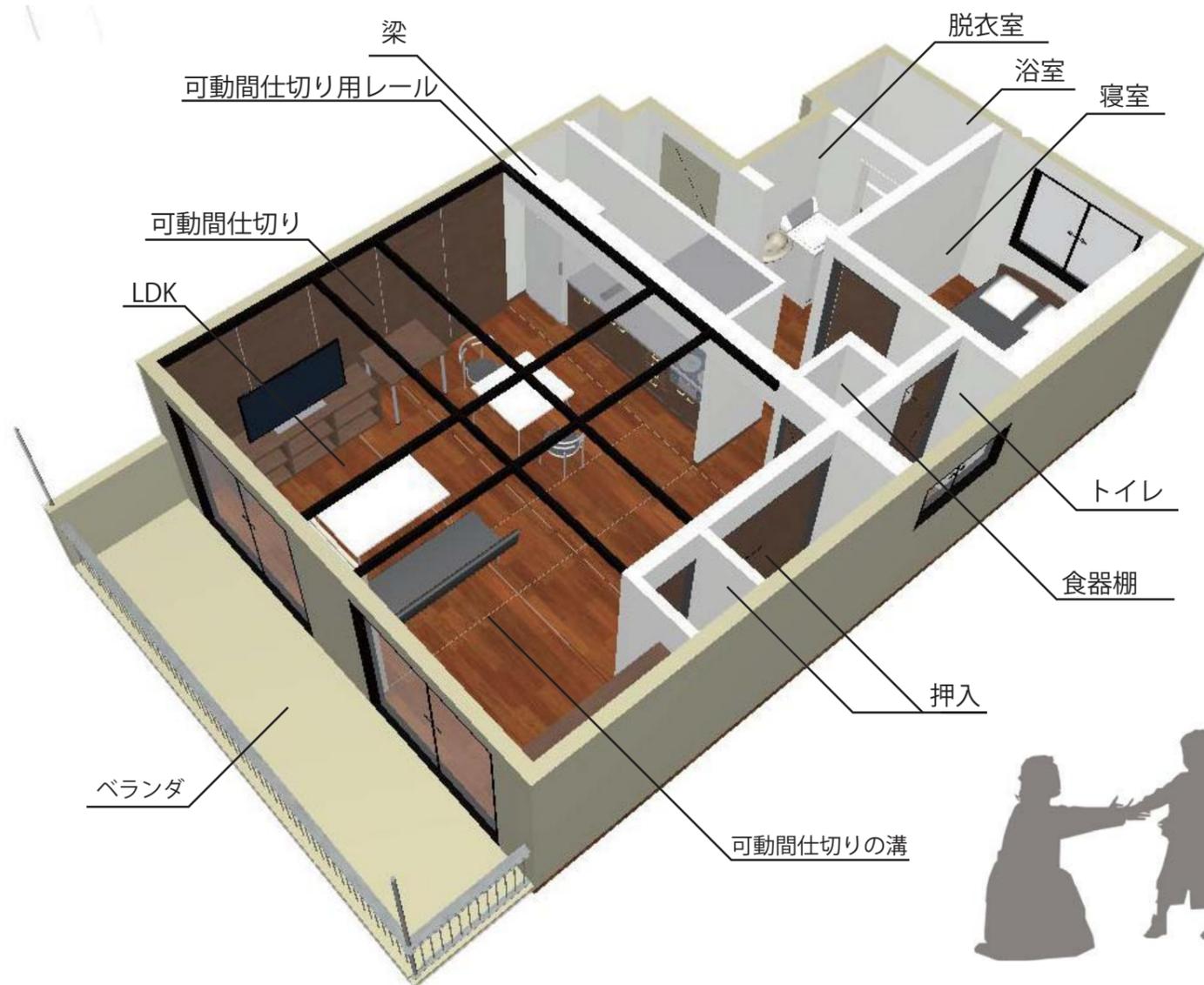
部屋を借りに来る人は全員が1つのことだけではなく「〇〇な使い方ができる部屋が欲しい」「広い部屋がいい」「小さくて落ちつく場所が欲しい」などなど人それぞれの要望があります。一軒家ではすべての要望を叶えることが可能かも知れませんが、マンションでは難しいと思う。そこで1つの大きな部屋を元に必要に応じて部屋を間仕切り、住む人自身で部屋を作る事ができるプランを提案します。

間仕切りに使用する板は表面は木目、裏面は鏡とする。(鏡面をうまく活用することで部屋を広く見せる事ができる)

動線計画は玄関から暗めの廊下(有効復員 870)を通りそこから明るく広い1室を見せることで開放感を強く与える、LDKと寝室は一直線の動線で移動可能とした、また寝室からは脱衣室、トイレを近くに配置し夜間の動線にも配慮した。

現在キッチンが幅 1500 のものが入っていたがコンロ、流し台で場所をとり、調理スペースがほとんどないリフォーム後は、梁のしたにキッチンを入れて邪魔だった梁を目立たなくし、幅 2400 のキッチンを入れゆったりとした調理を可能とした。(キッチンは可動間仕切りで隠すことも可能)

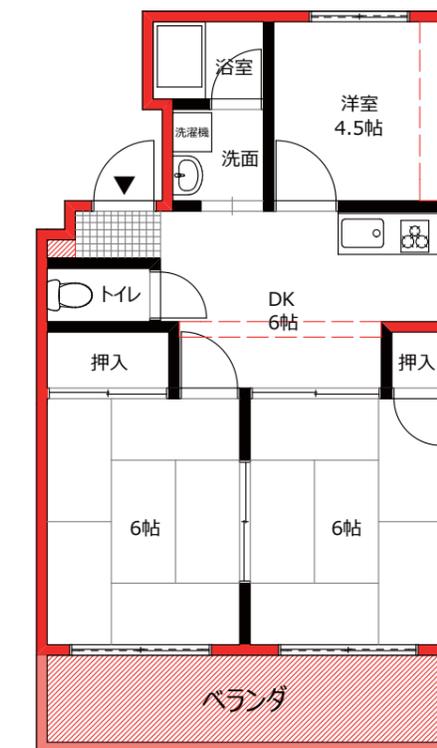
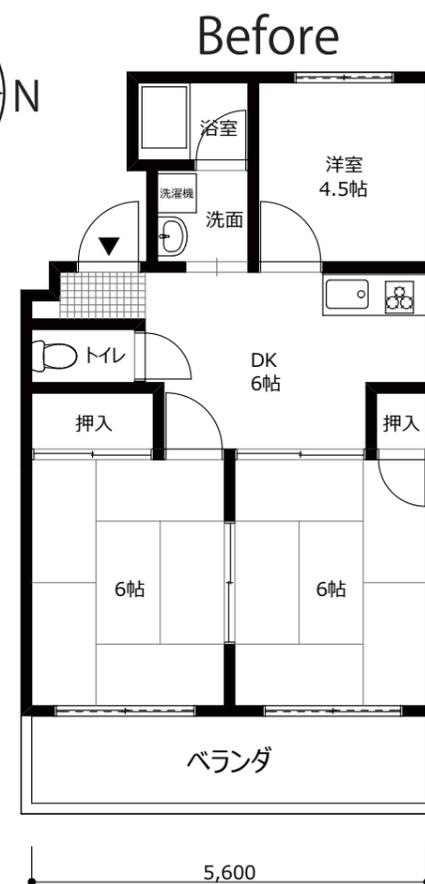
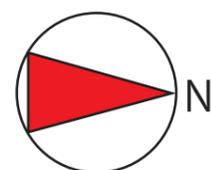
LDKと廊下、脱衣室に建具を設けずに温度を一定にすることで冬、夏での室内移動を考慮した。必要に応じて可動間仕切りを建具代わりとして扱うことが可能。



木目仕上げ面



鏡面



赤い所はリフォームの際に触ることができない。

間仕切りを使わない時は壁際に並べるほか、一箇所にまとめておくことも可能となっている。

建具を付けずに廊下、脱衣室まで温度を一定にして部屋全体の温度差を少なくしているが、室内だけを暖房、冷房効かせたいときは間仕切りを建具代わりに使うことで暖かい空気や涼しさをLDKに留めることができる。

平面図 S=1/100





可動間仕切りで隠せるキッチン

梁下にキッチンを入れて間仕切りで閉じることができるようにすることで梁を目立たせない計画とした。

散らかりやすいキッチンを隠すことで友達や仕事仲間も家に招きやすい。

キッチンは手元を明るく照らし作業しやすいよう面光源で昼光色の照明とする。



表



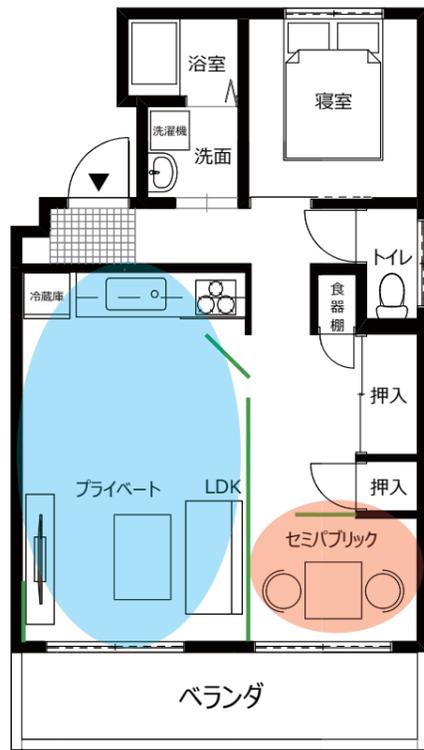
裏

可動間仕切りの表裏変え方



来客者訪問用

可動間仕切りを利用することでプライベートな空間とセミパブリックな空間をわけて使うことができる。



来客者訪問用



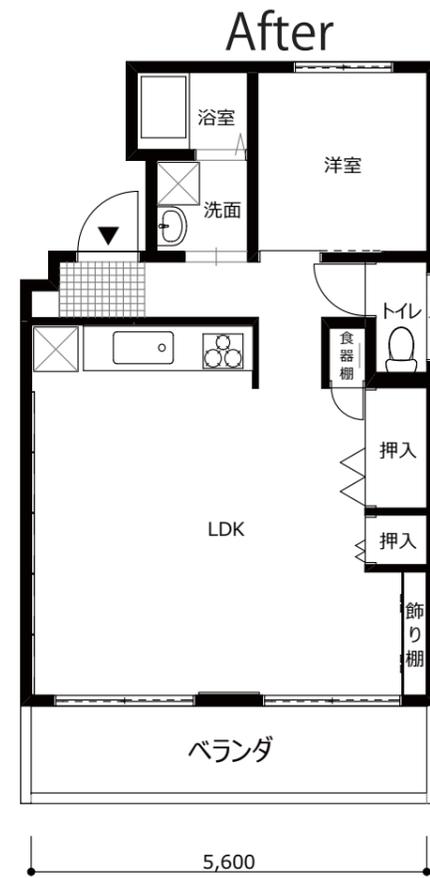
夫婦 + 子供

子供部屋を間仕切りで作ることで子供が生まれてもこの部屋に住み続けていただくことができる。



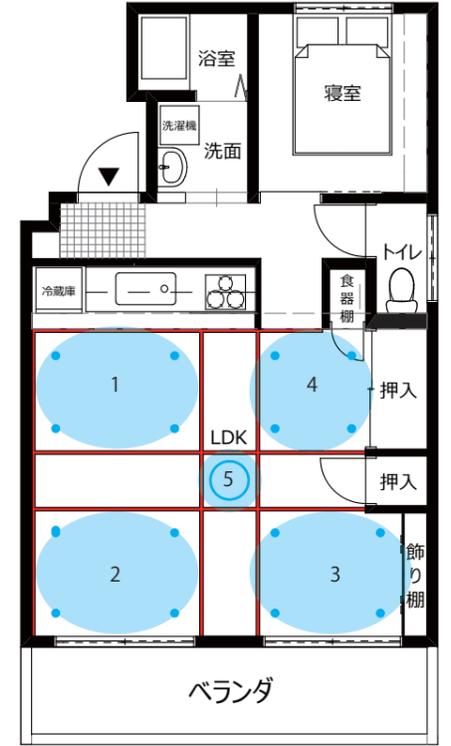
ベッドを東に配置

ベッドスペースを東に持ってくることで洋室を違う使い方で利用できる。朝の日当たりも良い。



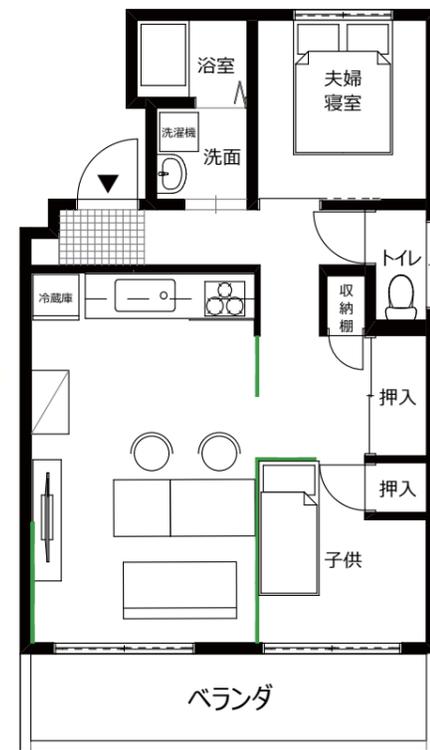
平面図 S=1/100

8,810

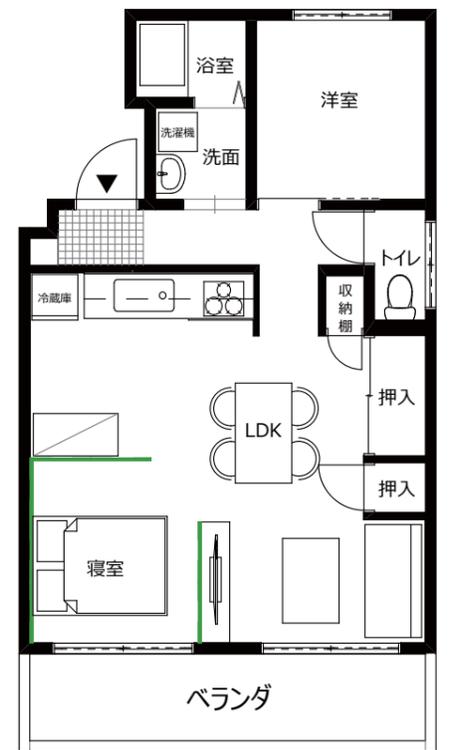


赤い所が間仕切りの可動範囲

青い部分は照明のスイッチを分けた計画とする。間仕切壁で囲った使わない部屋の電気代節約のため



夫婦 + 子供



寝室を東側に配置